



アップルインターナショナル株式会社

(マザーズ:2788)

‘07年第1四半期の事業報告と今後の事業戦略

<http://www.apple-international.com/>



目次

1. 2007年第1四半期の業績
2. 中期経営基本方針
 - 1) グループ管理体制の強化と確立
 - 2) 新体制
3. 中期事業戦略
 - 3-1) 中国事業
 - ① 中国事業における経営方針
 - ② A. I. Holdingsの事業活動
 - ③ 北京アップルの事業
 - 3-2) タイでのオークション事業展開
4. 中期事業戦略まとめ 他



1. '07年第1四半期業績

1-1) 業 績

コメント

(百万円)	(連 結)		
	アップル インターナショナルグループ		
	'06/1Q	'06年	'07/1Q
売 上 高	14,978	50,754	15,434
経 常 損 益	105	78	166

【連結ベース: 対前年同期比】

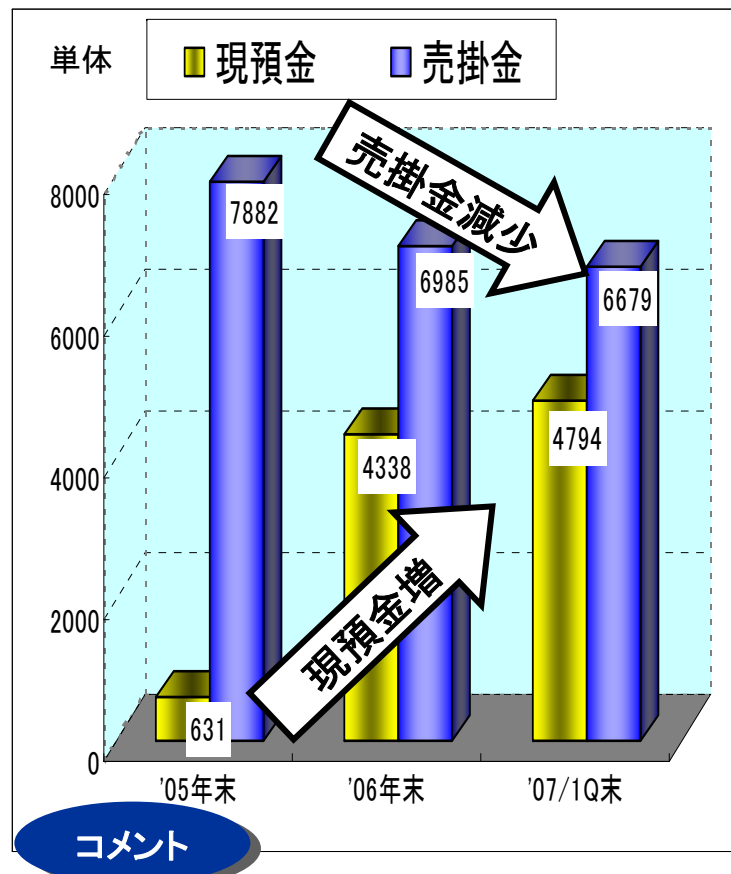
- ・中国の景気拡大の継続およびベンツ、ルノーの販売好調にて中国事業の売上高が増加し、154億円の連結売上高を計上。
- ・経常損益は収益率向上、事業拡大により、前年同期比61百万円増の166百万円を計上。
- ・アップルオートネットワーク業務改善推進中。赤字幅縮小し、黒字化も間近。

(百万円)	(単 体)											
	アップルインターナショナル			A.I.HOLDINGS			Prime ON			アップル オートネットワーク		
	'06/1Q	'06年	'07/1Q	'06/1Q	'06年	'07/1Q	'06/1Q	'06年	'07/1Q	'06/1Q	'06年	'07/1Q
売上高	4,617	15,608	3,882	9,791	31,179	8,390	135	369	1,763	1,892	7,137	1,948
経常損益	24	▲ 15	40	104	267	78	47	▲ 151	81	▲ 75	▲ 80	▲ 26

1-2) 財務状況(連結) 前年同期比

(百万円)		単体		連結				単体		連結	
		'06年1Q末	'07年1Q末	'06年1Q末	'07年1Q末			'06年1Q末	'07年1Q末	'06年1Q末	'07年1Q末
流動資産	現金預金	577	4,794	3,349	7,764	流動負債	買掛金 (含:支払手形)	70	86	3,735	3,123
	売掛金	8,193	6,679	10,100	10,257		短期借入金	4,314	4,771	5,711	9,733
	棚卸資産	1,940	2,810	4,197	5,194		長期借入金 (1年以内返済)	23	22	223	621
	前渡金	869	319	2,950	2,223		前受金	44	533	74	780
	未収、貸付他	365	1,293	1,499	1,679		未払金、未払費用、未払法人税	118	144	2,140	2,083
	貸倒引当金	▲340	▲494	▲396	▲544		その他	-	-	10	77
	計	11,604	15,401	21,699	26,573		計	4,569	5,556	11,893	16,417
固定資産	有形固定資産					固定負債	固定負債	136	34	553	1,377
	取得	257	296	908	1,276		少数株主持分	-	-	261	304
	(償却累計)	▲38	▲28	▲139	▲256		資本金	4,816	4,816	4,816	4,816
	計	219	268	769	1,020		資本準備金	4,980	4,980	4,980	4,980
	無形固定資産	13	13	924	956		利益剰余金他	1,876	1,646	1,719	1,434
長貸、投資他	4,541	1,350	830	779	計	11,672	11,442	11,515	11,230		
計	4,773	1,631	2,523	2,755							
計	16,377	17,032	24,222	29,328							

自己資本比率 71.3% 67.2% 47.5% 38.3%



コメント

当連結会計年度末における資産合計は、前年同期比51億円増の293億円。増加要因は、事業規模拡大に伴う借入金増に起因。

当社単体での最大経営課題である売掛債権回収は順調に進み、前年同期比15億円減の67億円と大幅改善。



2. 中期経営基本方針

-1) グループ管理体制の強化（その1）

管理体制の強化～将来における業容拡大に呼応～

世界戦略
市場エリアの拡大
(主として中国)

拡大均衡戦略
収益高、収益率の向上

投資戦略
新規事業への
積極的投資

～足元を固め～

ハイパーカンパニー化【管理体制、財務体質強化→確固たる経営基盤の確立】

管理体制整備強化

- ・コーポレートガバナンス体制構築
- ・コンプライアンス及び危機管理体制の整備

- ・経営基盤の安定化
- ・経営の健全化
透明性、迅速性

財務体質強化

- ・滞留資産の早期流動化
- ・高収益品への選択と集中



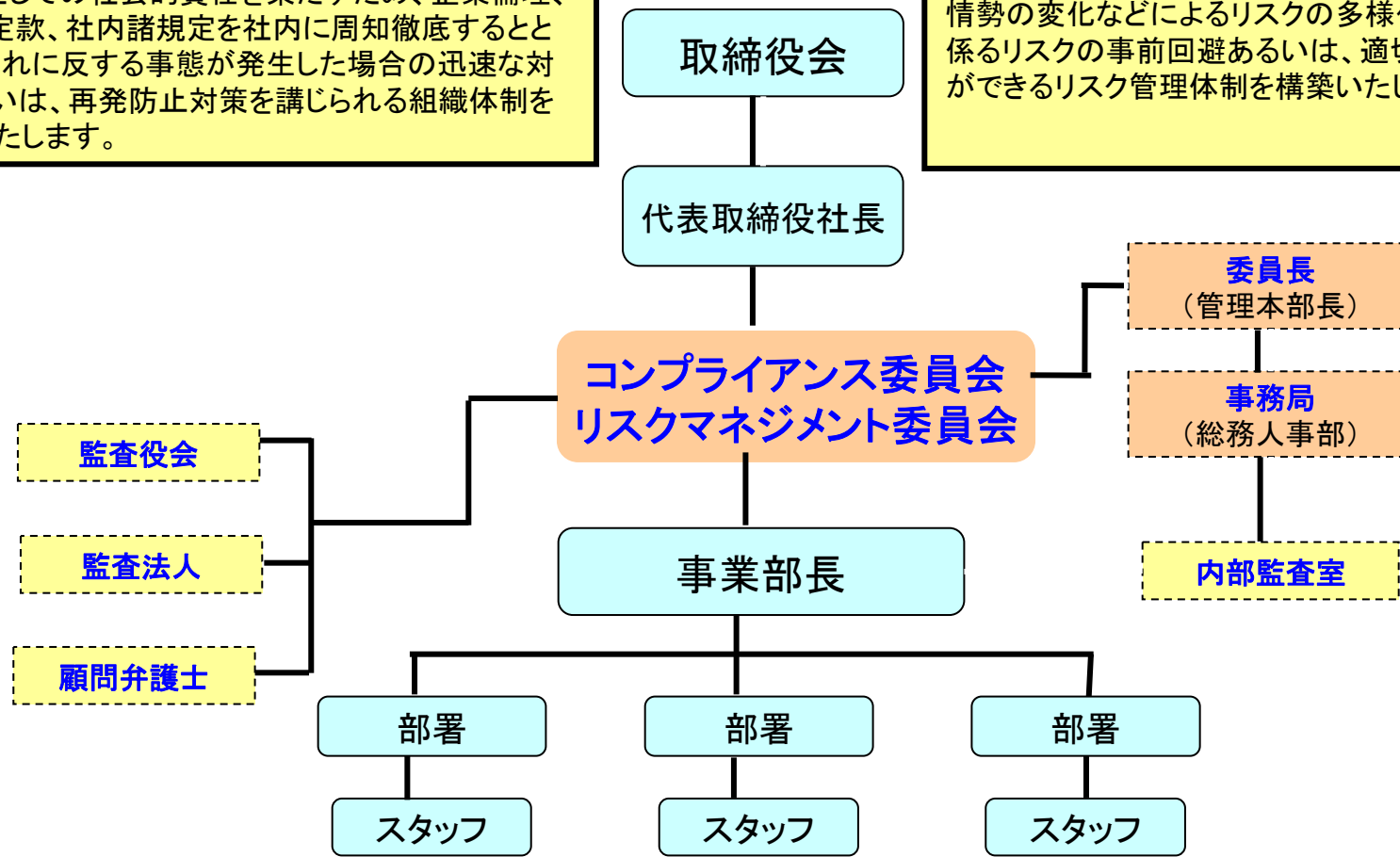
-1) グループ管理体制の強化 (その2)

◎コンプライアンス委員会の設立

企業としての社会的責任を果たすため、企業倫理、法令、定款、社内諸規定を社内に周知徹底するとともに、これに反する事態が発生した場合の迅速な対応あるいは、再発防止対策を講じられる組織体制を構築いたします。

◎リスクマネジメント委員会の設立

市場エリアならびに事業領域の拡大さらには社会情勢の変化などによるリスクの多様化が懸念され、係るリスクの事前回避あるいは、適切に対応することができるリスク管理体制を構築いたします。





-2)新体制

- 代表取締役社長：久保和喜（グループ全体の総括責任）
- 常務取締役：高田祐二（グループ全体の経営企画統括、再編推進）
- 取締役：埴原明彦（国内外事業、営業統括）
- 取締役：芦田安功（グループ全体の財務統括：財務体質強化推進）
- 取締役：陳恵元（海外与信管理体制の強化推進）
- 取締役：杉本雅俊（弁護士：コンプライアンス）



アップルの事業戦略



3. 中期事業戦略

3-1). 中国事業

背景 (その1)

アジアのマーケットリーダーは、日本からタイ、中国へ移行

メーカーのターゲットは「ネクスト・リッチ層」

2008年には北京オリンピック、そして2010年には上海万博、広州ではアジア競技大会と大きなイベントが続く。当面は成長率に波はあっても、経済は力強い成長をしていくと思われる。

第11次5カ年計画における中国の経済成長率は7.5%。

10万元以上の所得世帯を「リッチ層」。

5万元から10万元までの所得世帯を「ネクスト・リッチ層」。

野村総合研究所の調査では、2010年にはリッチ層は現在の1.77倍になる320万世帯と推計される。

そしてネクスト・リッチ層は2003年の2.48倍になる1200万世帯と推計される。

自動車メーカーが中国での拡販戦略を考える時に、爆発的に増大するこのネクスト・リッチ層をいかに取り込むかが、中国市場での成功の重要な鍵を握る。

2009年には中国市場は日本市場を追い越す

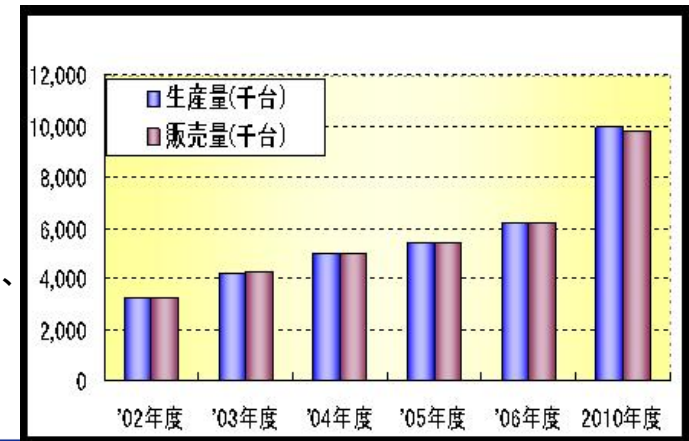
北京、上海などの1級経済都市を「Layer0」、1級省の省会市・単列市を中心に「Layer1」、そして2級省、3級省を入れ「Layer2、3」を定義する。

2003年時点では、北京、広州のリッチ層は80%の世帯で自動車を所有している。一方、ナンバープレート規制などがある上海では、同じリッチ層でも60%の世帯での保有率。ネクスト・リッチ層に目を向けると、北京、広州では60%の所有率(表1)。

表1 地域別の世帯数に対する自動車保有率の推計(2003年)

	Layer0			Layer1	Layer2	Layer3	加重平均値
	北京市	広州市 深セン市	上海市				
リッチ層	80%	60%	60%	60%	50%	65%	
ネクスト・リッチ層	60%	15%	30%	30%	20%	25%	
その他世帯	12%	1%	6%	6%	4%	6%	

2002年都市部家庭資産調査報告書(中国国家統計局)、
2003年各都市自家用車保有台数(中国城市年鑑2005年)、
野村総合研究所が実施したアンケート調査より推計



背景（その2）

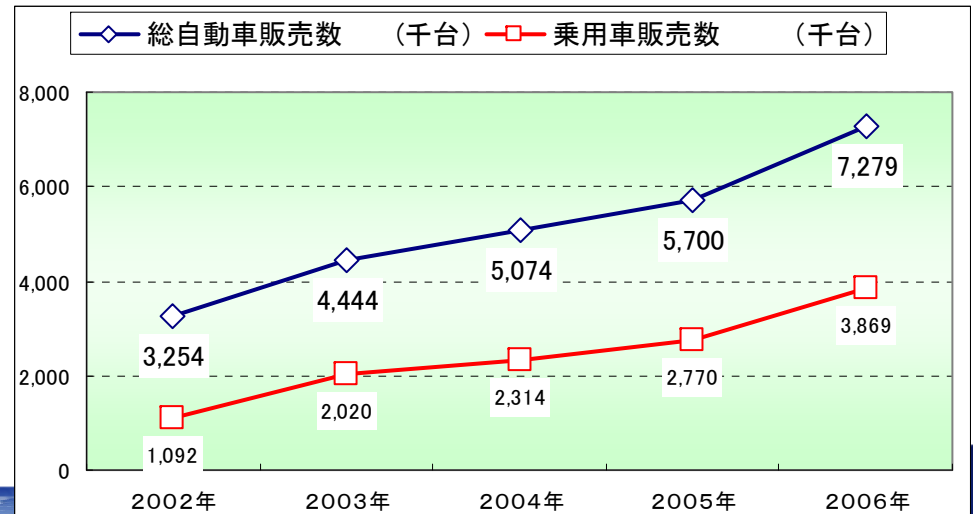
中国は2025年までに、世界において最も大きな車市場として、アメリカを超える。
 (GM、フォードによる予測) : 出展(Ecologist, Vol.35)

中国は2010年までには日本と肩をならべる自動車生産・販売国となる。
 (出展:新光総合研究所レポート)

中国は公用車から個人のマイカー時代へ (環境問題が突出する恐れ)

中国における乗用車市場の成長率

年	総自動車販売数 (千台)	乗用車販売数 (千台)	乗用車 占有率(%)
2002年	3,254	1,092	33.6
2003年	4,444	2,020	45.5
2004年	5,074	2,314	45.6
2005年	5,700	2,770	48.6
2006年	7,279	3,869	53.2

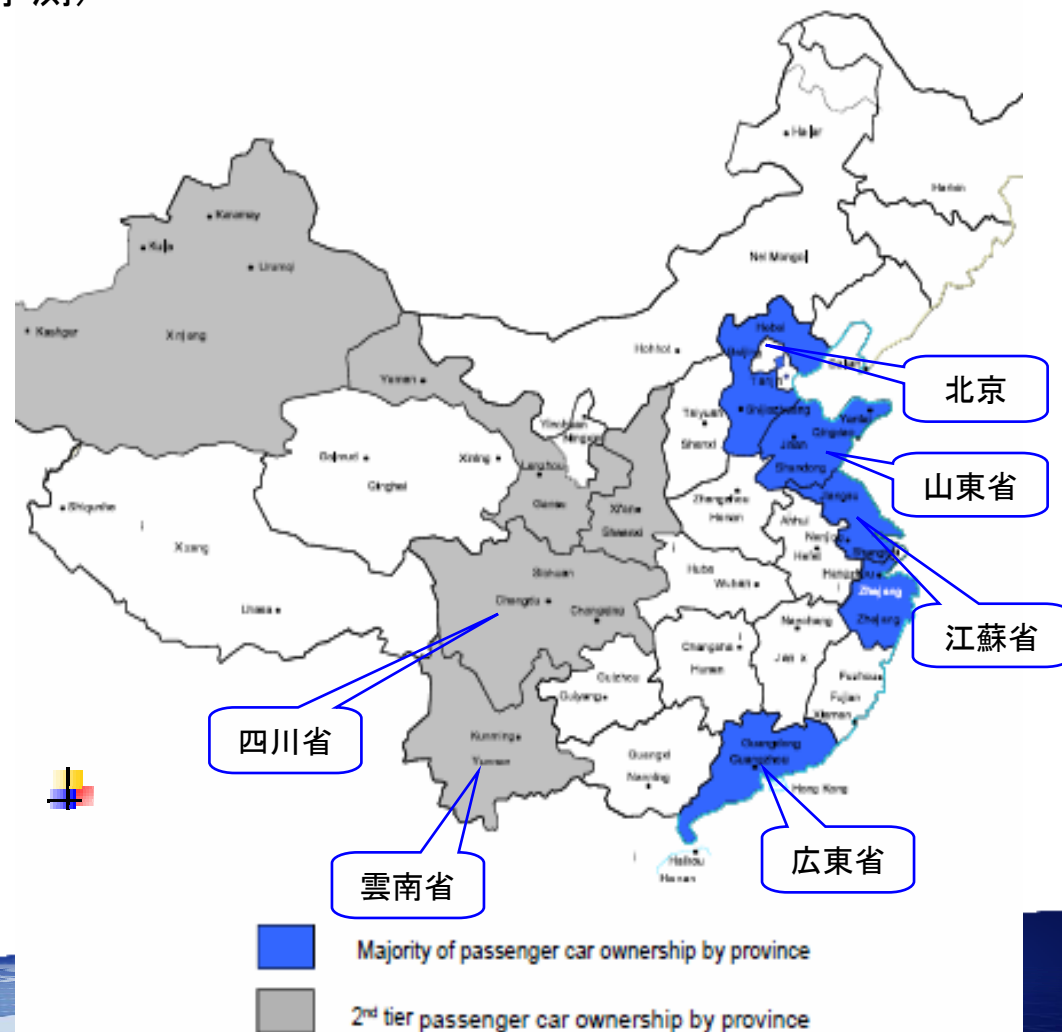


背景（その3）

中国は2025年までに、世界において最も大きな車市場として、アメリカを超える。(GM、フォードによる予測)

乗用車所有地域別分布

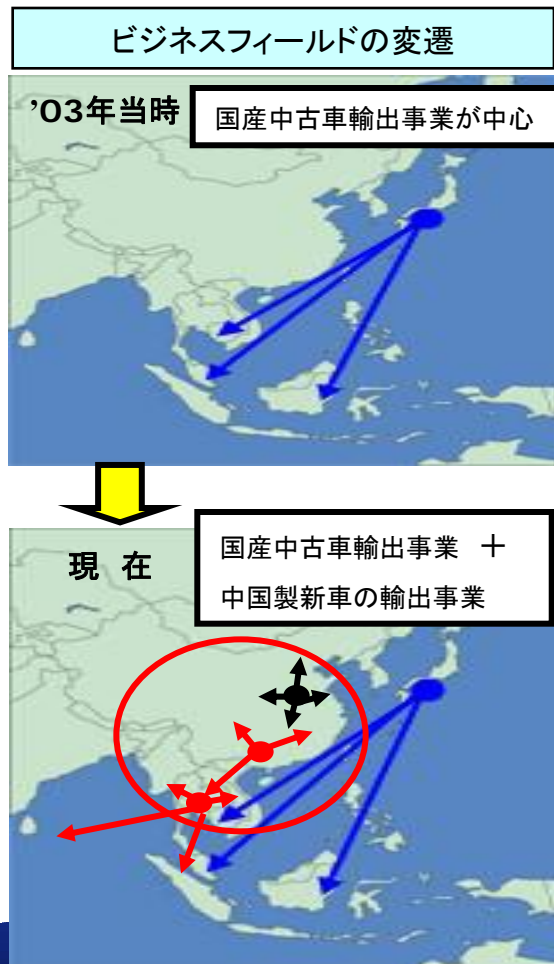
省 / 市	所有数 (百万台)	乗用車 所有率(%)
北京/河北	1.96	18.3
広東	1.43	13.3
浙江省	0.74	6.9
江蘇省	0.64	6.0
山東省	0.82	7.7
四川省	0.57	5.3
雲南省	0.32	2.9



①中国事業における経営方針とビジネスフィールドの変遷

常に5年先を予測して、舵取り!

常に変革を先取りし、改革(新しいビジネスフィールドの開拓)を実行



新規事業と売上高の変遷				
03年	04年	05年	06年	07年計画
				520億円
				新車販売事業拡大
			507億円	左図●印 中国でのFC事業強化
			左図●印 中国でのFC事業強化	左図●印 中国国産車を世界に輸出
			左図●印 中国国産車を世界に輸出	
		349億円		
		左図●印 中国国産車を世界に輸出		
	224億円			
178億円				
正規ディーラーとして、中国に進出				
日本から中古車の輸出開始				

② A.I.Holdingsの事業活動

目的:アップルインターナショナル及びグループ企業の企業価値の向上

経営資源
中国事業に選択・集中

中国事業の担い手
A.I.Holdings

ロンドンAIM市場
上場に向け準備中



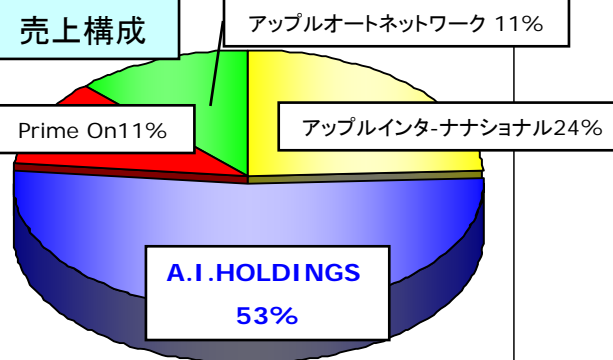
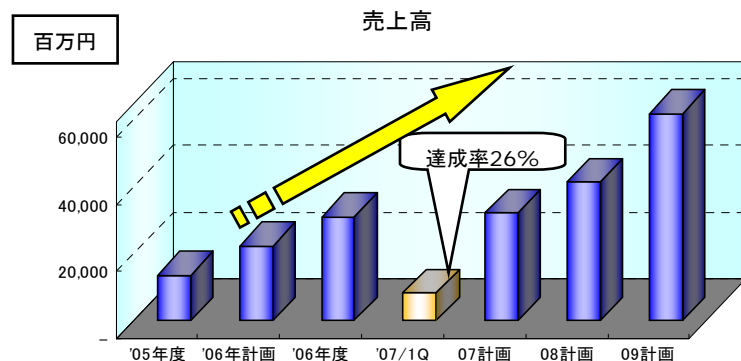
地球環境保全に配慮したビジネス展開

エタノール車(CO2削減)の仕入れ、販売事業への参入

上場後も、アップルインターは
A.I.Holdingsに対する出資
比率40%を予定

A.I.HOLDINGSの業績推移

業績 (百万円)	A. I. Holdings (全体)			
	'05年度	'06年計画	'06年度	'07/1Q
売上高	13,676	22,353	31,179	8,390
営業損益	8	311	482	142
経常損益	286	192	267	78



'06 連結売上高507億円
'07 1Q連結売上高154億円
内、A.I.Hの売上高比率は53%
を占める。

A.I.Holdingsの 3つの事業



人民元変動、中国のバブル崩壊、いかなるケースにも対応可

① 中国国内事業

ハンドリング会社

Prime On ・A.I. Automobill

・正規販売代理店として中国国内にて、
小売及びディストリビュート事業を展開

Distribution, Retail & Services

REGIONAL DISTRIBUTION



Sole distributor in 6 Provinces



RENAULT

Sole distributor in 3 Provinces

6 FRANCHISED DEALERSHIPS



Mercedes-Benz



RENAULT



CHRYSLER



HYUNDAI
Official Partner

Jeep

② 輸出事業

- ・A.I. Investment(Yunnan)
- ・A.I. Automobill Export

- ・世界各国に向け、新車中古車を輸出。
- ・上流階層市場向けに新車、中古車を輸出

International Automobile Trading

	Mercedes-Benz	Europe → PRC, Singapore Indonesia, Thailand & Malaysia
	PORSCHE	Europe → PRC
	LEXUS	Middle East → PRC & Philippines Hong Kong → Indonesia, Thailand & Malaysia
	B M W	Europe → PRC
	TOYOTA	Japan → Singapore & Indonesia Middle East → PRC & Philippines
	HONDA The Power of Dreams	Japan → Singapore
	SUZUKI	Japan → Singapore

③ 正規輸出販売代理店

- ・China Automobill Export

- ・中国製自動車の輸出代理権を独占的に獲得。(獲得済み: 9車種)

China-Made Motor Exports

FUQI

Exclusive global distributor for pick-up trucks & SUV



HANGTIAN

Non-exclusive regional distributor for mini-buses.



WULING

Non-exclusive regional distributor for mini-vans & mini-trucks.



Authorized dealers in Saudi Arabia, Jordan, Egypt, Angola, UAE & Morocco.

The following countries are under negotiation – South Africa, Malaysia, Sri Lanka, Fiji & Mozambique

① -1) A.I. Holdingsの中国国内事業（その1）

雲南において、メルセデスベンツのディストリビュータ事業とディーラー事業を展開



① -1) A.I. Holdingsの中国国内事業 (その2)

✚ 雲南にて、下記4つのブランドのフランチャイズ
ディーラー事業を展開

(1) 現代 ディーラー事業 / 雲南省

(2) 中華 ディーラー事業 / 雲南省

(3) ルノー ディーラー事業 / 雲南省、西安省

(4) クライスラー ディーラー事 / 業雲南省



② A.I.Holdingsの正規輸出代理事業

数年後、中国製自動車の世界の自動車市場を席卷→世界販売のリーディングカンパニーとなるべく輸出代理権確保

中国製車種の輸出代理権(全9車種)を独占的に獲得

ブランド名	製品	輸出テリトリー	契約期限
Jinbei	ピックアップトラック (2237cc)	中国を除く全世界	2010年6月
Dadi	ピックアップトラック (2237cc)	サウジ、クウェート、 フィリピン、アフリカ全土、 オーストラリア	2010年4月
Jingang	ミニバス (2237cc)	アフリカ、中近東、 東南アジア、南米	2010年6月
Wuling	ミニバス、ミニトラック (970cc, 1050cc, 1300cc)	SAIC GM、China Exの 輸出拠点のない全世界	2008年1月
南汽	小型車 (1500cc)	躍進汽車、China Exの 輸出拠点のない全世界	2010年4月
Forta	トラック (1t ~ 20t)	Forta、China Exの 輸 出拠点のない全世界	2008年8月
Jiangxi	ピックアップトラック、 SUV	中国を除く全世界	2011年5月

世界に向け輸出



ハンドリング会社

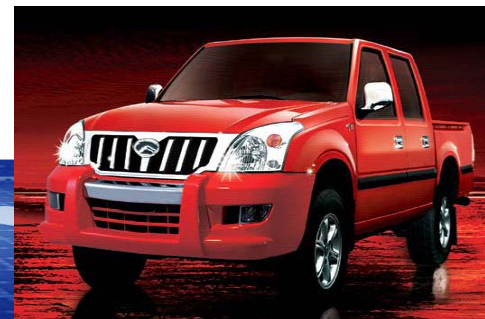
CAE(上海)



Fuqi SUV



Fuqi Pickup



③ 北京アップルの設立とその目的並びに現況

北京アップルの位置づけ...中国における中古車マーケット市場

○背景（出所：丸紅経済研究所）

経済成長に伴う個人所得の増加

個人による乗用車の購買が
中国の旺盛な自動車需要を牽引

アップルオートネットワークは
中古車

○設立目的と目指す方向

アップルの経営支援と双日の中国事業展開ノウハウを通じ
北京アップルを中国における中古車買取販売事業のパイオニアにする

A.I.Holdingsは新車市場が中心

A.A.N(当社の子会社)、双日、現地資本
のJ/V:北京にてアップルチェーン店展開

事業拡張、
収益拡大

FC展開による全国規模のネットワーク構築

中古車買取・販売をコア事業 → 将来的にはオークション事業への
参入等、同国での新車販売後のビジネス連鎖を構築

北京ショールーム



3-2) タイにおけるオークション事業の推進

【背景】

- ・'06年度タイにおける自動車生産台数は前年比6%増の119万台。
- ・完成車輸出は前年比22%増の54万台
- ・査定基準、オークション制度未成熟
- ・オークションを活用した中古車販売は3万台/年程度。

タイ発 世界への中古車販売を目標

【対応:目的】

潜在需要の掘り起こし、収益増につなげる。

【対応:現状進捗】

事業推進スキーム、採算検討完了し、本格的にプロジェクトの推進がスタート。

3ヶ月後には、本プロジェクトを本格稼働させる方針

オークション会場(案)



【対応:手段】

オークション制度の成熟を図ると共に当社の査定基準を導入する

(*) 国内事業スタイル変更の検討

顧客来店待ち型

営業型にシフト

具体案

Web 活用

タウンページ工夫

コールセンター

ITセンター

- ・アップルインターナショナル
- ・アップルオートネットワーク

【課題】

顧客情報を収益増に繋げる体制づくり



4. '07年:年間収益計画(連結)

'07連結収益計画

売上高: 520億円(前期比+2.6%)

経常利益: 6.0億円(前期比.0%)

当期利益: 2.5億円(前期比%)

EPS: 2,006円

❖ アップルインターナショナル

- 海外向け輸出事業は、売上高156億円
 - 粗利率の確保と、売掛金サイトを考慮したマネジメント
 - カーメーカーの現地生産拡大に伴う中古車発生国の変化に対応した施策展開

❖ A.I.Holdings

❖ グループの成長ドライバーでA.I.HOLDINGSに経営資源集中

- 売上拡大に伴う、粗利率の確保と効率オペレーション体制の構築
- 修理・保守のメンテナンス体制の強化。自動車周辺ビジネス(中古車、アフターセールス、改造、保険等)に展開し、様々な収入の獲得とともにより付加価値の高いサービスを提供。
- 中国製新車輸出事業の世界的流通網の構築
- 市場のニーズに適した技術的能力、マーケット変動に応じた柔軟な戦略を実行しながらサービス品質重視経営を。

❖ アップルオートネットワーク

- ・大きなメスを入れ、業務改善推進中
- ・'07/4より、単月黒字化必達

'07年第1四半期 売上高実績

アップルインターナショナル 39億円(達成状況25%)

アップルオートネットワーク 19億円(達成状況26%)

A.I.H 84億円(達成状況27%)

当社のビジネスチャンスは、拡大傾向

① 中国国産車大躍進

中国国産メーカーの技術進歩は、極めて早く進んでいる。
大手メーカーのデザインから完全に脱皮し、独自のデザイン設計された車が次々とデビュー。

② 中国マーケット

今なお、中国マーケットは、10%以上の安定成長を維持している。

③ 中古車調達グローバル化

日本メーカーの現地生産が、アジア、特に中国、タイで強化され、中古車発注源が大きく変化している。



投資家の皆様へ

- ・株主価値拡大に向けた業績向上
- ・積極的なIRの推進（透明性・公正性・タイムリーディスクロージャー）

IRお問い合わせ先

E-Mail; ir-info@apple-international.com

<http://www.apple-international.com>

本資料は、平成19年3月決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2007年3月31日現在のデータに基づき作成しております。本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。